

Kita no Kawaraban

# 北の瓦版

URL <http://www.do-shokoren.com/>

節電にご協力をお願いします。  
3月31日(火)までの  
平日8時~21時

北海道商工会連合会

〒060-8607 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7ビル  
TEL(011)251-0101代/FAX(011)271-4804編集人:事務局長 石橋 孝/定価:1部50円/奇数月1日発行  
会員の年間購読料は会費に含めていただいております。商工会  
北海道商工会連合会

平成26年度  
道商工連臨時総会  
道商工業支援協同組合臨時総代会  
全道商工会長研修会

とき 平成27年3月5日(木) 午後1時~  
ところ ホテル札幌ガーデンパレス

## 道商工会連合会と 道商工連議所連合会が連携協定



来場者数は、2日間で7,200人と多くの北海道ファンなどで賑わい、中には200人が訪れたブースもあった。

会場には、最近関心が高まっている「ふるさと納税」のお礼品の展示や「販売コーナー」があり、各ブースで納税のPRを行う他、制度の内容を説明する「案内コーナー」を設置、納税の仕組みや方法を案内した。

「地域おこし協力隊」の募集では、来場者から「町の担当者と直接話ができる、複数のブースで説明が受けられて、とても良

アにとらわれない広域的な連携による共通の地域資源や特性に応じた産業の活性化が不可欠であり、そのためには地域を牽引する商工会と商工連議所が連携体制を構築することが急務となることから両連合会による

長)と道商工会議所連合会(高向巣会頭)は、両者が連携・協力して事業に取り組む「包括連携協定」を締結した。

「地方創生」を積極的に推進していくため、既存の地域エリ

アにとづいて、「食」、「観光」、「雇用」の3分野で連携が図られ、展示会・商談会・物産展、青年部や企業向け講習会・セミナーなどの開催のほか雇用創出に向けたコミュニケーションビジネス事例集の作成などが計画されている。

1月23日に札幌市内で締結式が行われ、来賓の秋庭道経済産業局長と高橋道知事のほか両連合会の役員、報道関係者が見守る中、荒尾会長と高向会頭が協定書に署名した。

今回の協定にもとづいて、本イベントは、道商工連議所連合会との共催で、道内地域の魅力を首都圏在住者等にアピールし地域の活性化につなげる目的で実施。商工会や行政、企業など11団体が出展した。

道商工連では、1月24日(土)、25日(日)の両日、東京丸の内にあるJPタワー地下1階の「東京シティアイ」において、北海道の地域をPRするイベント「なまらいいっしょ北海道フェア」を開催した。

来年3月に開業する北海道新幹線のPRを行ない、マスコットキャラクター「どこでもユキちゃん」が1日3回登場して子供から大人まで大人気であった。出展者からは「初めてのイベントだったが、来訪者の滞在時間も長く、都市圏での潜在的なニーズを知ることができた」、「若者と直に接することが出来た」などの声があり、地域をおいにアピールできた。



「なまらいいっしょ  
北海道フェア」を  
東京で開催

「かつた」との声があった。  
「移住相談コーナー」には「前から移住の相談に来たかった」と家族連れの来場者もあった。

いつでもどこでもなんどでも  
—企業の課題解決のために、商工会も一緒に取組みます

## 地域と「ラボする商工会」 —商工会では自然できる地域づくりを実践しています—

農商工連携 濟活性化につながるよう期待されている。

# 地域と「ラボする商工会」 —商工会では自然できる地域づくりを実践しています—

農商工連携 濟活性化につながるよう期待されている。

卷之三

shandi nivas cafe  
(シャンディ・ニバズ・カフエ)

## 移住してインドカレー店を創業

談し、経営指導員から創業計画の作成を支援してもらい金融機関から融資を受けた。

当店は長沼町東4線南10番地で、昨年8月に開業したインドカレー店。店主の坂本圭司さん(39歳)は、那須塩原市でカレーの移動販売をしていたが、隣の福島県での原発事故発生をきっかけに北海道への移住を決意、友人のすすめもあって平成24年長沼町に夫婦で移住した。



A black and white photograph of a dish of rice topped with shredded vegetables and a garnish, served on a white plate next to two small bowls.

肉を使い製  
造に3日か  
けたチキン  
カレーで、  
奥様が作る  
手作りケー  
キも好評で

開店以来、若者から年配者まで幅広い客層に支持されており、「今後はイベントの企画や新メニューを考え、店名の“安らぎの場所”になる店を目指して頑張りたい」と話してくれた。

**支援担当 経営指導員 大畠 奴坂**

**支援担当 経営指導員 大畠 努**

A black and white photograph showing a group of approximately ten people in a kitchen setting. In the center, a man wearing a white apron and a dark shirt is focused on preparing food in a large pot on a portable stove. He is surrounded by several spectators, mostly men in dark business-like attire, who are watching him work. The kitchen has white cabinets and various kitchen equipment visible in the background.

が参加し、じゅらんリサーチセンター、エグゼクティブプロデューサーであるヒロ中田氏のプロデュースのもとで検討を重ね、町を代表する食材である「柳だこ」と「灯台つぶ」を活用した「白糖タコつぶステーキ丼」を考案し

ンターチェンジが開通するのに合わせ白糠町商工会（高橋隆助会長職務代行者）が主導して、昨年4月に「白糠の新・ご当地グルメをつくる会」を立上げ、地場産食材を利用した「新・ご当地グルメ」の開発を進めてきた。同会には、地元の次食店<sup>ら</sup>古

## 道東自動車道開通に向けた 新・ご当地グルメの開発

何度も試作を繰り返してきた。  
この丼は、地元で獲れたタコ  
とツブをゆでてソテーし、熱々

道商工連では、平成27年度農  
ファンド事業  
募集のお知らせ

交流人口の増加が見込まれていて、こうしたことから、「食と食材の町しらぬか」の魅力を活かした「白糖タコつぶステーキ丼」が、自動車道利用者に立寄ってもらうきっかけになり、地域経済が活性化する可能性がある。

3分の2 又は 2分の1  
助成内容の詳細や助成を受けるために必要な書類について  
道商工連又は最寄の商工会へ  
問合せ下さい。  
〈関連URL〉  
<http://www.do-shokoren.co>

- リース・レンタル料
- パンフレット等作成費
- パッケージデザイン料
- 展示会の出展費用、旅費
- ◇募集期間  
3月中旬～4月末日（予定）
- ◇助成限度額・助成期間  
1年毎200万円・3年以内

次とおり。  
事業に係る主な対象経費は、  
向けた取組に助成を行うもの。発から販路開拓までの事業化に

商工連携ファンド助成事業の募集を予定している。

済活性化につながるよう期待されている。

## 平成27年度 商工会関係補助金予算は 対前年比1%の増

**平成27年度小規模事業指導推進費補助金の道予算案が、総額で25億1,090万円と示された。**

道の一般会計予算案は、4月

心とした骨格予算として、2兆5,290億円となつた。

一方、商工会関係補助金は、

対前年比で1%増加し、25億1,090万円が計上された。

人件費は、平成26年度に実施された俸給と勤勉手当の引き上げ等を要因とし、総体で2,4

10万円増加し、24億6,890万円となつており、事業費は、

指導事業費旅費の広域連携旅費及び広域連携モデル事業費等が継続確保されたほか、単年度事業についても要望額が措置され、

総体では、前年並みの4,440万円となつた。

なお、道の政策予算は、知事選を経て、6月に開会予定の第2回定例道議会に補正予算として提出される予定であり、商工会の補助金申請については、前回の知事選が行われた平成23年後、7月に変更申請を予定して

### ◆道商工連補助金

商工会指導事業及び経営改善普及事業費補助金は、人件費が

129万円減の2億7,398万円、事業費が17万円減の7,

630万円となり、総額で対前年比0.41%減の3億5,028万円となつてている。

事業費の内訳を見ると、若手後継者育成等地域活性化事業費3,743万円、商工会情報ネットワーク化等推進事業費1,300万円をはじめ、資質向上対策事業費、経営・技術強化支援事業費(エキスパートバンク)などが前年同額の配分となつて

いる。

このほか、小規模事業施策普及費が91万円増の277万円と

なり、反対に、商工会広域連携・合併支援事業費が93万円減、指

導事業費が15万円減の内示となつた。

## 経営発達支援計画を 23商工会が申請

昨年6月に「小規模企業振興

基本法」が公布・施行され、併せて、基本法を効果的に推進し、商工会等の支援強化を図るため

「小規模事業者支援法」が6月に公布・9月に施行された。

この支援法は、経営発達支援事業を商工会等が行う経営改善普及事業の中でも、特に重点的に実施する事業に位置づけ、商

工会は、小規模事業者の経営支援内容を3~5年計画にまとめた「経営発達支援計画」を策定、

経済産業大臣に申請し、その計画の認可を受けるもの。

第1回受付は1月13日~16日に行われ、道内から23商工会が一次申請書を窓口の道経済産業局に提出した。この後、道経済産業局の書面による審査会を経て、さらに経済産業省に二次申請を提出し、経済産業省の審査会を通った場合、計画の認定となる。第1回の認定は、3月下旬の予定となっている。

認定後は、国の施策も活用して「経営発達支援計画」に基づき事業を推進することとなるが、

事業承継を契機として既存事業を廃業し、業態転換する際にかかる費用の3分の2を補助、補助上限は、1,000万円。公

また、この「経営発達支援計画」は広域連携での実施も可能となつてている。

なお、27年度は2回の認定を行つた。

2月3日に国の平成26年度補正予算が成立したことから、中

小・小規模企業向け支援メニューの一部を紹介します。

◆小規模事業者持続化補助金

小規模事業者が、持続的な経

営に向けた経営計画に基づき、商品サンプルやチラシの作成、

売り方やデザインの変更など販路開拓等に取組む費用の3分の2を補助。補助上限は、50万円

で、雇用対策や買物弱者対策の取り組みは上限が100万円に拡大される。

なお、申請には、商工会の支

援を受けた経営計画書が必要。

公募は2月下旬開始予定。

### ◆創業・第二創業補助金

創業費用の3分の2を補助、

補助上限は、200万円。また

事業承継を契機として既存事業を廃業し、業態転換する際にかかる費用の3分の2を補助、補助上限は、1,000万円。公

## 平成27年 新年交歓会を開催

道商工連では、1月22日、札幌市内のホテルにおいて、新年交歓会を開催した。

道経済産業局長、内海道議会自

由民主党・商工会振興議員連盟幹事長はじめとする道議会議員など多くの来賓を迎えて、道商工連役員、青年部・女性部の役員など92名が出席した。

冒頭、荒尾会長から『昨年小規模基本法が施行され、今年は法律に基づく施策が実施されることから、当会も商工会とともに

にこれらの施策を活用しながら、会員企業の発展、地域経済の活性化に向けて関係機関のご支援をいただきながら、邁進していきたい』との挨拶があり、終始和やかに懇談が行われた。



# 通 信

と皮が固くなつてしまつが、子供からお年寄りまで安心



女性部作成のレシピで、町内の藤沢製菓に製造を委託。野菜や豚肉は主に当別産を使っており、冷凍販売の商品を、電子レンジで2分温めて食べる。皮はいもだんご特有のもちもち感と、ジャガイモの甘みと香りが広がる。添加物を一切使つていなため、時間がたつ

野沢菜などを小麦粉の皮で包んだ信州のおやきをヒントに、2年以上かけて商品を開発。豚生姜（しょうが）、チーズ、きんぴら、小豆あんの4種類の具材をそれぞれいもだんごの皮でくるみ、こんがりと焼きあげている。

当別町商工会女性部（石本留美子部長）では、町特産のジャガイモなどを使った「当別母さんのいもだんごおやき」を開発

いもだんご  
おやきで  
地域活性化

して食べられる食材のみを使用している。

べられないおやきとして定着し  
当別に来る人が増えてほしい」  
と話している。

した。加えて、年を追うごとに審査でも高評価をいただき、一気に商品化の決意が固まりまし

上川管内  
シャッターを開けて  
商店街が復活！

朝日商工会（帆苅隆会長）によ  
シヤツター街となってしまつ  
商店街に賑わいを取り戻そようと  
昨年12月21日（日）に、ご当地

記念としてシャッター街復活イベント「復活！朝日町商店街」を開催した。

部が、閉店する店が増え、シヤ  
ター街となつている士別市朝日  
町中心商店街に、昭和の頃の駄菓子屋  
のいを復活させようと発案して

もので、今回初めて開催した。

のイベントでシャツターレを開始し、復活した店舗は6店舗で、旭川市や当麻町、上川町からの出店参加もあり、既存店舗を含め

店参加もあり、既存店舗を合せて21団体18店舗と、昭和の駅わいが復活した。

各店舗では、朝日町の伝統料理「笹寿司」や地域住民に馴染み深い「カレー風味みそおでん」焼きたてパンや衣料品のほか、リラクゼーションコーナーの設置や昭和の街を映像や写真で楽し



中札内村の「道の駅なかさつない」は平成8年に道内36番目

として登録された。当初は年間6~8万人程度の入込みであったが、年々減少傾向となり、中札内商工会は「道の駅」の再生のため、平成14~15年度に「地域活性化ビジョン策定委員会」を設置し、道補助金を受け、道の駅及び周辺地域を含めた地域経済の活性化についての基本計画を策定した。

当日は、猛吹雪に見舞われたもの、地域内外から多くの人が各店舗を訪問。スタンプ5個以上で特産品が抽選で当たるスタンプラリーも実施、さらにご当地ゆるキャラに遇うとスタンプを押してもらえるなど楽しい企画もあった。

買い物客からの評判も良好であり、商工会では、一度きりのイベントではなく、今後も地域住民が楽しめるイベントを実施したいと検討している。

当時、「道の駅」の利用者にアンケート調査を行ったところ、レストラン・売店の配置、屋外物産販売所の有無など課題は山積み。委員会は関係機関との懇談や先進地視察を行い、綿密に課題解決に取組んだ。そして平成17年度に、売店等の配置改善・特売所の新設、資料館の移設など大幅にリニューアルしてオープンした。

その結果、利用者が急増し、管内観光施設入込客数で幾度となく1位を記録。平成25年度では、前年度対比3%増の70万7千人と十勝を代表する観光地へと発展した。



委員によると「地場産品を使つた安心・安全でメニュー豊富なレストランを設置し、何より村をあげての情報発信に効果があつたのでは」とのこと。現在は商工会が指定管理者として、「道

むブースを設置。屋外放送では、当時の雰囲気をより楽しんでもらうために、昭和の歌謡曲を流し、レトロな雰囲気を演出した。

当日は、猛吹雪に見舞われたもの、地域内外から多くの人が各店舗を訪問。スタンプ5個以上で特産品が抽選で当たるスタンプラリーも実施、さらにご当地ゆるキャラに遇うとスタンプを押してもらえるなど楽しい企画もあった。

買い物客からの評判も良好であり、商工会では、一度きりのイベントではなく、今後も地域住民が楽しめるイベントを実施したいと検討している。

当時、「道の駅」の利用者にアンケート調査を行ったところ、レストラン・売店の配置、屋外物産販売所の有無など課題は山積み。委員会は関係機関との懇談や先進地視察を行い、綿密に課題解決に取組んだ。そして平成17年度に、売店等の配置改善・特売所の新設、資料館の移設など大幅にリニューアルしてオープンした。

平成29年度には、体育館を改裝して工場として稼動し、地元から従業員を雇用する計画もある。また、町とは原料の提供や地域貢献に関する協定書を締結している。

この企業誘致は、北海道の委託を受け、「NPO法人住んでみたい北海道推進会議(井上久志理事長)」が実施したちょっと暮らしオフィス(転地型ワーク)試行調査事業がきっかけとなり実現したもの。

## 移住促進事業が企業誘致を実現



同社は、旧教員住宅を事務所として開設、上士幌町産の小豆、蜂蜜、牛乳と十勝ワインを利用した4種類のあめを開発し、2月に販売を開始した。

同社の営業本部長が、昨年2月に町内にあるお試し住宅に滞在し、あめの原料となる十勝の食材の調査などを行っていた。これまで道内で7社を受け入れてきたが、企業誘致に結びついたのは、3例目となる。

NPO法人住んでみたい北海道推進会議では、「北海道への移住を希望する方は、仕事の問題がネックとなり、移住を躊躇するケースが多く、これまで携わってきた仕事に就きたいという声をよく聞く。今回は、事業の拡大という形だったが、調査事業が成果につながり大変うれしい」と話している。

今後も移住促進事業が地域に貢献することを期待されている。

# ピューマンプラザ

沼田町商工会会長  
吉住 淳男さん



日に開催され約5万人の人出で賑わい、あんどん同士のぶつけあいが最大の見せ場である。商工会でも3ヶ月かけてあんどんを制作している。

また、7月には8haにわたる「ほたるの里」で、幻想的に飛び交うほたるを観賞することができる。

援を強化するなど、会員とともに商工会を運営していきたい」と抱負を語った。

## 企業紹介

(株)丸ヨ吉住商店は大正13年創業で、米穀卸小売業を営む。吉住会長が代表取締役であり、4代目になる老舗である。

吉住会長は、現在54歳。平成21年5月に商工会長に就任した後、平成24年5月に空知管内商連副会長、道商工連監事に就任。

沼田町觀光協会長をはじめ多くの公職に就き、地域の商工業振興に尽力している。

沼田町は、空知管内の最北部に位置し、平坦部は肥沃な水田地帯となっている。

主産業は農業で約200戸の農家が従事しており、なかでも米作が盛んである。雪の冷気を集めて米を糲のまま貯蔵する「雪中米」は町を代表する特産品であり、最上ランクの新鮮な味と香りが人気である。雪中米は有名で、8月の第4金・土曜祭りの一つ「夜高あんどん祭り」

沼田町商工会は、会員数117名、組織率76%で、役員17名、職員4名を配置している。商工会では、会員数の減少に伴う自己財源不足をいかにア依アで補い、事業を実施していくかが課題となっている。そのような中、昨年アメリカサンフランシスコの食品見本市に出展、雪中米をはじめ町の特産品が好評を得たが、今年も2月にロサンゼルスのスーパーで松坂女性部長らが参加した。海外部が中心となり特産品開発にも熱心に取組んでいる。



平成17年には、北海道で初めて米を台湾のスーパーに輸出し、とてもおいしいと評価され、現在は香港にも輸出している。『食品を扱うことから「誠実であること、正直であること』を常に意識して会社経営にあたっている」と吉住会長は話された。資本金2,800万円、従業員9名。

## 経営者の退職金制度を知っていますか?

「小規模企業共済」ってのは  
経営者が事業をやめたり、  
役員を退いたときなどに備える  
**退職金制度**  
なんだって!

将来もらえる共済金は  
一括で受け取ると  
**退職所得扱い**  
になって税制上の  
Wメリット!



掛金は  
**節税**  
にもなるのよ!



●本制度についてのお問い合わせ・お申し込みは

お近くの商工会又は北海道商工会連合会へ

【制度内容は次のホームページをご覧下さい。 <http://www.smrj.go.jp/>】

..... 本制度は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構が運営しております。 .....

## 青年部

### 経営研修会を開催

道商工青連(能登谷大輔会長)は、2月20日札幌市内のホテルで商工会青年部員経営研修会を開催し、全道から約300名の部員が出席した。研修に先立ち、全道の青年部が取組んだ「交通遺児募金」約190万円を公益社団法人北海道交通遺児の会に贈呈した。

研修会では、全国商工会青年部連合会長(有阿蘇はなびし代表取締役)の宮本博史氏による「これから企業経営と青年部活動のあり方について」の講演。本年度の若手後継者等育成事業について、実施商工会及び参加者から発表。元兵庫県商工会青年部連合会長(株アーテナソリューション代表取締役)の立石裕明氏による「経営革新・事業承継」の講演があり、参加者は熱心に聞き入っていた。

### ふるさと納税で地域活性化

今、注目を集めている「ふるさと納税」、納税をするとお礼品がもらえる。多くは地元の農林水産物や特産品だが、2千円

り生産が追いつかない」「在庫注目の的となっている。還元率100%は雑誌等で取り上げられ

て等の取組みに活用されている。特にお礼品である「ナイタイ和牛」は品薄状態が続き、納税者からは、質の良さも評価され魅力的な牛肉としてブランド化

されている。

和牛」は品薄状態が続き、納税者からは、質の良さも評価され魅力的な牛肉としてブランド化

て等の取組みに活用されている。特にお礼品である「ナイタイ和牛」は品薄状態が続き、納税者からは、質の良さも評価され魅力的な牛肉としてブランド化

度額あり)が戻ってくるなどのメリットもあり、そのお礼品を

を超える納税額(所得により限

が無くなつた」と対応に苦慮している企業もある。

また「商品を買いに来た観光客には、ふるさと納税による購入方法も勧めています」と対応

しているところもある。

これは、東川町のように一時的に礼品を送って終わりではな

く、将来を通じて町のファンに

なつてもらう「株式制度」を導

入するなど、自治体によって、

まちまちである。

制度改正により、今年から一

割であつた住民税の限度額が約

二割に拡大され、確定申告をし

ない方法も選択できるよう改正

される。

ふるさと納税の利用者が、ま

すます増えてくることが予想さ

れることから、これまで以上に

商工会が行政とタッグを組み、

ふるさとの活性化につながることが期待される。

### 東北復興ビジネスコンテスト 大賞が決定

復興庁では、新しい東北官民連携推進協議会を一昨年12月に設立し、被災地の産業復興に向けた地域産業創出を図る取組みを行っているが、先般協議会で

観光・ビジネス・ご婚礼・ご会合に心をこめたおもてなし。



**Cp ホテル札幌力ーテンパレス**

【ご宿泊】  
【ご婚礼】  
【ご宴会】  
【ご会合】

〒060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目 TEL/011-261-5311  
URL http://www.hotelgp-sapporo.com/

**商工会人事** (2月1日) ▽北広島商工会経営指導員(斜里町経営指導員) 工藤功治

**【退職】** (12月31日) ▽石狩北道商工連人事係長沢出由美

**【退職】** (12月31日) ▽総務課



は、地域産業の復興や地域振興に資する事業を募集する「新しい東北」復興ビジネスコンテストを開催し、受賞者が決定した。大賞は福島県いわき市の(株)磐城高箸が「林業と地域を再生させ、間伐材を使用した高級割り箸」で受賞した。

～全国健康保険協会(協会けんぽ)からのお知らせです～

### 平成27年度「協会けんぽの健診」のご案内

健診を受けることで、ご自身の健康状態を知ることができ、日頃の生活習慣を見直すきっかけにもなります。生活習慣病は早期発見・早期治療が大切です!ぜひ皆さまも1年に1度は健診を受けましょう!

お勧めの方(被保険者)には  
**生活習慣病予防健診**

- 特徴 ①4月以降に35歳~74歳の方が対象
- ②年度内に1回、協会けんぽが費用の一部を補助
- ③がん検診を含めた充実した検査項目

ご家族の方(被扶養者)には  
**特定健康診査**

- 特徴 ①4月以降に40歳~74歳の方が対象
- ②年度内に1回、協会けんぽが費用の一部を補助
- ③スグに使える受診券を、4月中にご自宅へ送付



